

請求明細書・給付管理票返戻（保留）一覧表

事業所（保険者）番号	9970000000
------------	------------

平成19年9月審査分

平成00年00月00日

事業所（保険者）名	介護事業所
-----------	-------

1 頁

県国民健康保険団体連合会

保険者（事業所）番号 保険者（事業所）名	被保険者番号 被保険者氏名	種別	サービス 提供年月	サービス 種類	単位数 特定入所者介護費等	事由	内 容	備 考
990000 A 市	0000000001 カコ 知ウ	請	H19.8	17	700	B	日数回数 : 明細が受給可能日数超過 : 1 0 0 1	F B
990000 A 市	0000000001 カコ 知ウ	請	H19.8	17	1,300	B	日数回数 : 明細が受給可能日数超過 : 1 0 0 3	F B
990000 A 市	0000000001 カコ 知ウ	請	H19.8	17	13,060	B	日数回数 : 市町村認定の利用可能日数超過 : 1 1 1 2	F 0
990000 A 市	0000000001 カコ 知ウ	請	H19.8	17	7,128	B	日数回数 : サービス可能な日数を超過 : 1 1 2 1	F J



ポイント！ 受給者台帳

保険者（市町村）は国保連に以下のような受給者の情報を登録しています。

受給者台帳・被保険者番号、氏名、生年月日、性別、要介護状態区分、認定有効期間、
居宅サービス計画作成区分・作成事業所番号等を登録

内容・ ・ F 0 日数回数：市町村認定の利用可能日数を超過

F A 日数回数：集計値がサービス実日数超過

F B 日数回数：明細が受給可能日数超過

F J 日数回数：サービス可能な日数を超過

原因・ ・ F 0 日数・回数が認定有効期間開始年月日から退所年月日までの日数を超過している場合エラーとなります。

F A 「介護給付費請求明細書」の中で、明細情報（給付費明細欄）の日数・回数を集計した値が集計情報（請求額集計欄）のサービス実日数より大きい場合にエラーとなります。（受給者台帳起因）

F B 「F0」と同じエラーですが、このエラーはサービスコード“ 17 ”「福祉用具貸与」又は“ 67 ”「予防福祉用具貸与」の場合だけです。

F J 日数・回数が入所年月日から退所年月日までの日数を超過している場合エラーとなります。（請求明細書記載誤り）

対応・ ・ F0・FBについては、利用者の受給者証等で認定日、喪失日を確認して下さい。喪失日については、転居等で、保険者が変更になっていることがあります。また、保険者が喪失日を間違えていることもありますので、利用者を確認すると共に、必要があれば保険者（市町村または福祉事務所の介護保険担当係）へも照会して下さい。

FAについては、「介護給付費請求明細書」明細欄の日数・回数、集計欄のサービス実日数を確認して下さい。

「備考」欄 エラーコード=F0、FBとなる請求明細書の例 (この請求明細書を提出すると前ページの「請求明細書・給付管理票返戻(保留)一覧表」が国保連から送付されます。)

被保険者	被保険者番号	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	(フリガナ)	カゴ 知										
	氏名	介護 太郎										

サービス内容	サービスコード	単位数	回数	サービス単位数	公費分回数	公費対象単位数	摘要
車いす貸与	171001		30	700			11111-111111
特殊寝台貸与	171003		30	1300			33333-333333

サービス種類コード	17						
サービス実日数	30	日					
計画単位数		2000					
限度額管理対象単位数		2000					
限度額管理対象外単位数			0				
給付単位数(のうち少ない数)+ 公費分単位数		2000					
単位数単価	1000	円/単位					
保険請求額	18000						
利用者負担額	2000						
公費請求額							
公費分本人負担							

受給者台帳 (保険者(A市)が国保連に登録している受給者の情報)			
保険者番号	被保険者番号	被保険者名	資格喪失日
990000	000000001	カゴ 知	20070826

カゴ 知は8月26日にA市の介護保険資格を喪失
8月は、8月1日~8月25日までの25日間サービスを受けられる

誤：30日
正：25日

国保連は、保険者が国保連に登録している内容を確認し、利用者がサービスを受けられる日数「25日」より、請求されたサービス日数「30日」の方が多いため、FBエラーとなります。

国保連は、保険者が国保連に登録している内容を確認し、利用者がサービスを受けられる日数「25日」より、請求されたサービス日数「30日」の方が多いため、F0エラーとなります。

エラーの原因と対応

原因・・・
利用者が月の途中で転居し、A市の介護保険資格を喪失したが、30日分請求したため、FB・F0エラーとなっています。

対応・・・
「回数」と「サービス実日数」を“25日”と修正して再請求してください。残りの5日分は転居後の保険者番号・被保険者番号で請求してください。

←→ 突合を行う箇所
←... 国保連が点検時に見る箇所